

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

令和6年度（2024年度）

# 子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム



## 受講者募集



受講期間：令和6年10月から令和7年3月まで  
(テスト受験期間：令和6年10月から令和7年1月まで)

長崎大学子どもの心の医療・教育センターは、長崎県内の子どもの心の支援を目的とし、平成28年10月に長崎大学に開設されました。当センターでは、地域と連携した子どもの心の高度人材育成およびネットワークの構築を目指した取り組みを行っています。

「子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム」では、現在受講対象を全国に拡大し取り組んでいます。

本件に関する  
問い合わせ先

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉ e-mail [kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp)

🖨 HP <https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>



# 子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム

長崎大学 子どもの心の医療・教育センターでは、発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上・キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療的な支援に関する教育プログラムを提供しています。

## ● プログラムの概要

子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けることを目指します。



■ 学習は**全てeラーニング（オンライン）**で実施します。

インターネットを利用し、受講サイトに公開された講義動画を視聴して学習を進めていきます。就労されている方でも時間や場所にとらわれず、自分のペースで受講することができます。

各領域で活躍している講師や当センター教員による講義

受講サイトで講義動画を視聴（各講義 約60分）

■ Aコース・Bコース・Cコースの計3コース編成です。

- ・発達障がいや精神障がいのタイプや特性に関すること
- ・様々な問題を抱えている子どものアセスメント
- ・問題に対する支援方法
- ・関係機関の機能や各機関との連携方法 など

各講義ごとの試験

テスト受験期間に  
サイト上で回答

+

- ・80点以上で合格。  
（選択問題）
- ・受験期間内は、  
複数回挑戦可能。

各コースの修了者には、長崎大学から履修証明書（修了証）が発行されます。

<修了要件>

受講コースの全講義を視聴および、全講義のテストに合格すること。

**テスト受験期間：令和6年10月1日から令和7年1月31日まで**

秋期受講開始の場合はテスト受験期間が4か月間となります。

ご確認の上お申し込みください。

※履修証明書の発行手続き上、3月末までではありませんのでご了承ください。

## ● 受講資格

- 高卒以上の学歴がある方
- 発達障がいのある子どもに関わっている方  
（教師、心理士、保育士、療育関係者、保護者等、資格職種は問いません。）
- ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方

※受講お申込み後のご連絡は主にメールで行うため、申込時にPCメールアドレスのご登録をお願いしております。キャリアメールや職場のメールアドレス等は、文字化けやメール受信が正常にできない場合が多いためご遠慮いただいております。ご協力の程、お願い申し上げます。

## ● 各コースについて

本プログラムは、Aコース・Bコース・Cコースの計3コースで編成されています。各講義等の詳細は裏表紙をご確認ください。

※今後、内容に変更が生じる場合がございます。情報は随時ホームページ等でお知らせいたします。

### A 発達障がい基礎・アセスメントコース

発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。

初めての方は、まずAコースを受講されることをお勧めします。

- 定員 60名
- 講義数 40講義
- 受講料 30,000円

### B 発達障がい児者への支援コース

Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。

- 定員 30名
- 講義数 40講義
- 受講料 30,000円

### C 発達障がいトピックコース

A・Bコースを受講された方向けのコースです。発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、発達障がいに関する最近の研究に基づく知見、また、特色のある支援について学ぶことができます。

- 定員 10名
- 講義数 40講義
- 受講料 30,000円

※各コース内の講義編成・担当講師は年度毎に変更が生じます。予めご了承ください。

※各コース内の講義編成は、今年度春期（4月）開始の場合と変更ございません。

※**一人1コースのみ**お申し込み可能です。（複数コースの受講は不可。）

※本プログラムを現在受講中の方もお申し込み可能です。

※受講料納入期間は、受講開始前の令和6年9月中を予定しております。

（詳細は受講可否決定後に通知いたします。）

※Aコース・Bコースは令和2年度までの旧コース（全80講義）を令和3年度に再編成したものです。

講義内容の更新や講師・コース内編成の変更等が生じています。

## ● 受講申込について

### ■ 受講者募集期間

令和6年7月17日（水）13時 ～ 令和6年7月31日（水）正午締切

### ■ 申込方法

当センターホームページ上でお申し込みフォームから受付予定です。

長崎大学子どもの心の医療・教育センター ホームページ

<https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>



### ■ 受講可否の発表

令和6年8月中旬を予定しております。（申込者ご本人様へメールにて通知）

※受講可否は原則先着順にて選考します。

無料

本プログラム（eラーニング）の体験版を公開中です！

▼体験版▼

実際に受講する雰囲気や事前体験することができます。

※講義動画の一部のみの公開となります。※体験にはGoogleアカウントが必要です。

<https://sites.google.com/view/kodomotrial>



# 令和6年度（2024年度） 講義タイトル・講師一覧

※講義タイトル、講師等が変更になる可能性がございますので予めご了承ください。

## ● Aコース：発達障がい基礎・アセスメントコース（全40講義）

子どもの発達1 乳幼児の発達 ～発達症（障害）の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり	発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
子どもの発達2 思春期から青年前期の発達 ～発達症（障害）の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり	知能検査の結果に基づく支援（Binet系、Wechsler系）	吉田ゆり
知的発達症・限局性学習症	吉田ゆり	認知発達検査の結果に基づく支援（K-ABC、K式）	吉田ゆり
コミュニケーション症	西野章子	発達検査（KIDS、遠城寺、JMAPなど）	徳永瑛子
注意欠如多動症	岩永竜一郎	言語の評価	西野章子
自閉スペクトラム症	岩永竜一郎	行動の評価（適応行動、ADHD評価含む）	岩永竜一郎
発達性協調運動症	岩永竜一郎	ASDの評価	岩永竜一郎
うつ病・双極症	今村明	LDの評価	増本利信
統合失調症と前駆状態	今村明	学校における合理的配慮 ～通常学級における発達症（障害）支援を中心に～	吉田ゆり
インターネット依存・ゲーム行動症について～発達障がいとの関連～	三原聡子	特別支援教育の概要と新しい学習指導要領について	岡野由美子
大人の自閉スペクトラム症	今村明	教育委員会の取り組み	下田渚
大人のADHD	今村明	通常学級における特別支援教育	岡野由美子
子どもの「神経症」	今村明	個別の教育支援計画・個別の指導計画	増本利信
選択性緘黙	金原洋治	通級指導教室における支援	増本利信
子どものトラウマの理解と対応	八木淳子	特別支援学級での支援	木村栄
てんかん	本田涼子	学校における構造化の実践 ～特別支援学校（知的）高等部での取り組み～	前田美和
子どもの高次脳機能障害	太田尾有美	スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかわり	吉田ゆり	スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
子どもの精神科での治療	今村明	保育所（園）での支援	吉田ゆり
発達障がいのある子どもへの幼児期に必要な支援	堀裕子	不登校・ひきこもりについて	古豊慶彦

## ● Bコース：発達障がい児者への支援コース（全40講義）

応用行動分析	高橋甲介	ソーシャルストーリー	服巻智子
認知行動療法	田村法子	ASDに対する応用行動分析と実践	服巻智子
発達障害児の言語発達支援	西野章子	適応行動と理解の支援	萩原拓
TEACCH® Autism Program	諏訪利明	ペアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
ASD児のコミュニケーション支援	服巻智子	アタッチメント理論と発達の諸課題	吉田ゆり
感情マネジメント	服巻智子	発達障害者支援センター	岡田祐輔
感覚処理の評価と問題への対応	岩永竜一郎	医療機関としての取り組み	松坂哲彦
協調運動の評価と問題への対応	岩永竜一郎	児童相談所による支援	柿田多佳子
日常生活支援（食事、排泄、睡眠など）	仙石泰仁 荻野明日香	不登校・ひきこもりの現状	宮本鷹明
不登校への対応	河田将一	健診における取り組み・保健センターの関わり	岩永竜一郎
発達障がい児・者の性発達と性行動	宮原春美	親の会の活動、ペアレントメンターについて	内藤貴子 奥野由美 柿本文香
発達障がい児・者のSexuality支援の実践	宮原春美	当事者からの話	山田隆一
読み書きの支援1（ひらがな編）	村井敏宏	発達障害者施策	日詰正文
読み書きの支援2（漢字編）	村井敏宏	福祉サービス事業について	廣欽耕一
見ることの支援1	増本利信	障害児通所支援事業所における発達障害児支援	宮野伸枝
見ることの支援2	増本利信	保育所等訪問支援の取り組み	太田篤志
算数の支援	山田充	特別支援学校における就労に向けた専門的教育	田淵敬朗
算数障害のある子どもへの支援	熊谷恵子	高等学校における特別支援教育の実践	上戸綾子
発達障害児のための道具の工夫	鴨下賢一	巡回相談	岩永竜一郎
ソーシャルスキル・トレーニング	田中悟郎	ピアサポートとリカバリー	田中悟郎

## ● Cコース：発達障がいトピックコース（全40講義）

ADOS-2に学ぶASDの発達心理学	服巻智子	知能検査の結果を支援に活かす～WISC-Vを使って～	木谷秀勝
ASD児への超早期介入	服巻智子	CO-OP approach™	塩津裕康
強度行動障害の理解と支援	井上雅彦	読字と感覚・運動	高橋脩平
吃音のある子どもの支援	菊池良和	WAVESを用いた視覚認知の評価と支援	奥村智人
ダウン症や染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援	近藤達郎	LD-SKAIPを用いた支援	奥村智人
摂食障害への対応	宮田雄吾	発達障害のある子どもへのICT機器を使った支援	高橋知義
LGBTの理解と支援	吉田ゆり	学習障害のある児童生徒への英語指導	村上加代子
リストカットのある子どもへの対応	宮田雄吾	中学校における通級による支援	高橋範充
発達障害・愛着障害・トラウマ関連障害	今村明	高等専門学校における特別支援教育の実践	松尾秀樹
少年犯罪について	今村明	発達障害のある大学生への支援	Peter Bernick
子どもの睡眠障害と神経発達障害 ～子どもの発達における睡眠の重要性について～	中井昭夫	いじめ予防の実現を目指して	和久田学
発達障害児・者の歯科治療	長田豊	特別支援教育のための学校コンサルテーション	青藤宇開
ペアレント・プログラムの概要	辻井正次	社会参加と支援	赤壁吾吾
発達障害のある子どもの周りへのアプローチ	増本利信	発達障害のある方の就労支援	梅永雄二
発達障害児者への福祉行政支援	羽辺由紀子	発達障害を抱える人の職場での軋轢と産業界の対応 ～保護者や支援者に望むこと～	藤野昭宏
児童家庭支援センターでの支援	高比良亮	発達障害とスポーツ	澤江幸則
児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児への支援	宮田雄吾	友だち作りの力を育てるソーシャルスキルトレーニング ～PEERS®プログラム～	山田智子
発達障害児のきょうだいへの支援	田倉さやか	余暇支援について	加藤浩平
発達障害児者の緊急時（災害など）の支援	山田裕一	自閉症の人へのコミュニケーション支援～PECS®を中心に～	門真一郎
子どもと大人の絆を深めるCAREプログラム	木村一絵	自閉スペクトラム症幼児への新しい支援方法 ～自然な発達の行動介入：JASPER、ESDM～	黒田美保